
視聴権販売機

VMLR11

取扱説明書

第2版:2022年8月18日



東亜電子工業株式会社

(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

-目次-

安全上のご注意	3
1 はじめに	7
2 各部の名称	7
2-1 全体図	7
2-2 内部図	8
2-3 寸法図	9
3 設置	10
3-1 付属品	10
3-2 設置方法	11
4 初期設定	14
4-1 初期設定	14
4-2 メンテナンスモード設定	14
4-3 期間データの更新	14
4-4 ロール紙の補充	14
5 販売動作	15
5-1 通常時	15
5-2 部屋番号間違い時	15
6 警報ブザー	16
7 モード	17
7-1 管理モード	17
7-2 メンテナンスモード	20
8 日常のお手入れ	30
8-1 紙幣回収	30
8-2 紙幣識別機の清掃	31
8-3 ロール紙の補充	34
8-4 プリンターの清掃	35
8-5 警報ブザー用電池交換	37
9 エラー	38
10 製品仕様	39
11 保証規定	41

安全上のご注意

－かならずお守りください－

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事を、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



記号は注意を促す表示です。



記号はしてはいけない「禁止」表示で、記号内に具体的な注意内容図が描かれています。

左図は「分解禁止」指示です。



記号は必ず実行していただきたい表示で、記号内に具体的な指示図が描かれています。

左図は「電源プラグを抜く」指示です。

警告



AC100V 以外禁止

指定の電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

直射日光の当たる場所や、冷暖房器具の近くで著しく温度が変化する場所には取り付けしないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に花びん、植木鉢、水の入ったコップなどを置かないでください。
水がこぼれて中に入った場合、感電、発熱、火災の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

本機の内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたりしたらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。

そのまま使用すると火災、感電の危険があります。



電源プラグを抜く

故障や発煙、変な臭い、音がした状態で、そのまま使用すると火災、感電の危険があります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そして販売会社にご連絡ください。



確認

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。



専門業者へ

電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。



アース線接続

アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。



分解禁止

本機を分解しないでください。
内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。
感電の危険があります。



禁止

電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないでください。
ショート、断線により火災、感電の危険があります。

注意



取り外し確認

移動させる場合は接続ケーブルなどをはずしてください。
ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。



禁止

腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。
また、埃や空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)が含まれている環境へも設置しないでください。



禁止

埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けしないでください。
絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に重い物を置かないでください。
転倒、落下などが怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。
コードが断線、ショートし、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

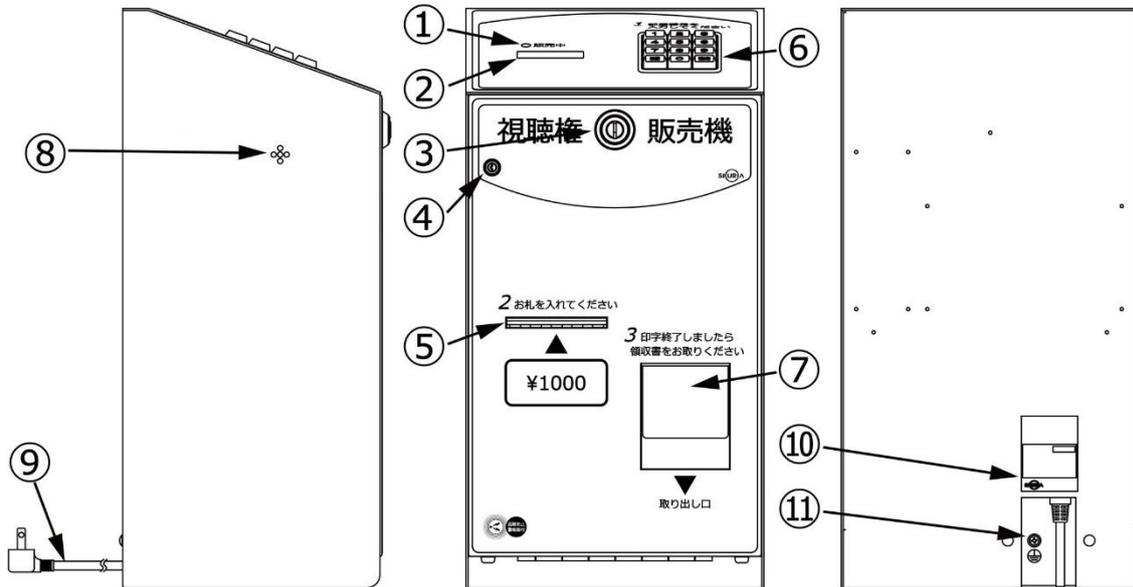
電源が入っている状態で、内部の配線を引き抜かないでください。
故障の原因になります。

1 はじめに

VMLR11 は、有料放送の視聴権を販売する販売機です。

2 各部の名称

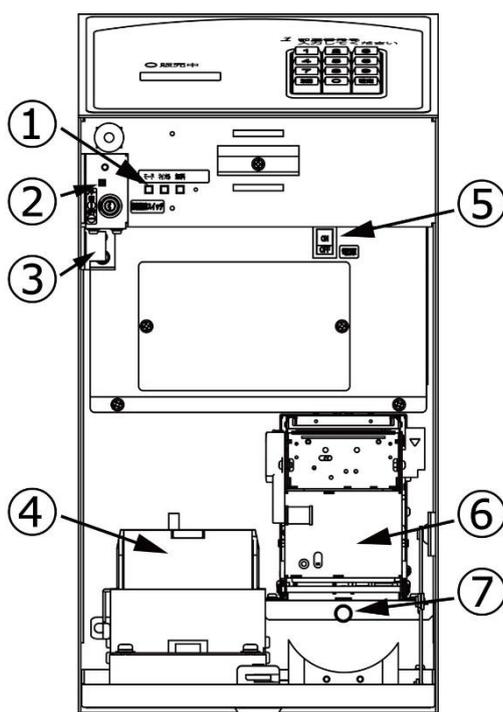
2-1 全体図



名称	機能
① 販売中ランプ	販売が可能な状態であれば点灯します。
② 数値表示器	入力された部屋番号、販売金額、エラーなどを表示します。
③ 扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。
④ 警報ブザー設定スイッチ	警報ブザーを ON/OFF します。
⑤ 紙幣挿入口	1000 円紙幣を裏表 4 方向で挿入できます。
⑥ 12 キー	部屋番号入力などの操作を行います。
⑦ 領収書取り出し口	領収書が発行されます。

名称	機能
⑧ 警報ブザー穴	警報ブザーの音が鳴ります。
⑨ 電源プラグ	本機の電源供給用です。(AC100V 用)
⑩ 定格銘板	製品の型式、製造No.、電気定格などを記載しています。
⑪ アース端子	アース線の接続部です。

2-2 内部図

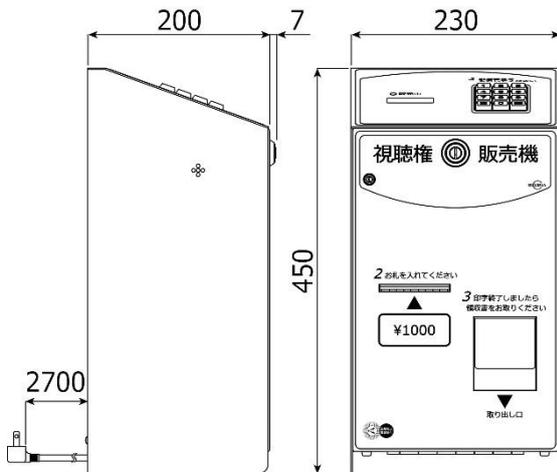


	名称	機能
①	設定スイッチ	各種設定などに使用します。 左からモードスイッチ、キャンセルスイッチ、無料スイッチとなります。
②	電池残量チェックスイッチ	警報ブザー用電池の残量を確認します。
③	電池ボックス	警報ブザー用電池を取り付けます。
④	紙幣識別機	紙幣を取り込み、収納します。
⑤	電源スイッチ	本機の電源を ON/OFF します。
⑥	プリンター	ロール紙に印字します。
⑦	プリンター固定ネジ	プリンターを固定します。

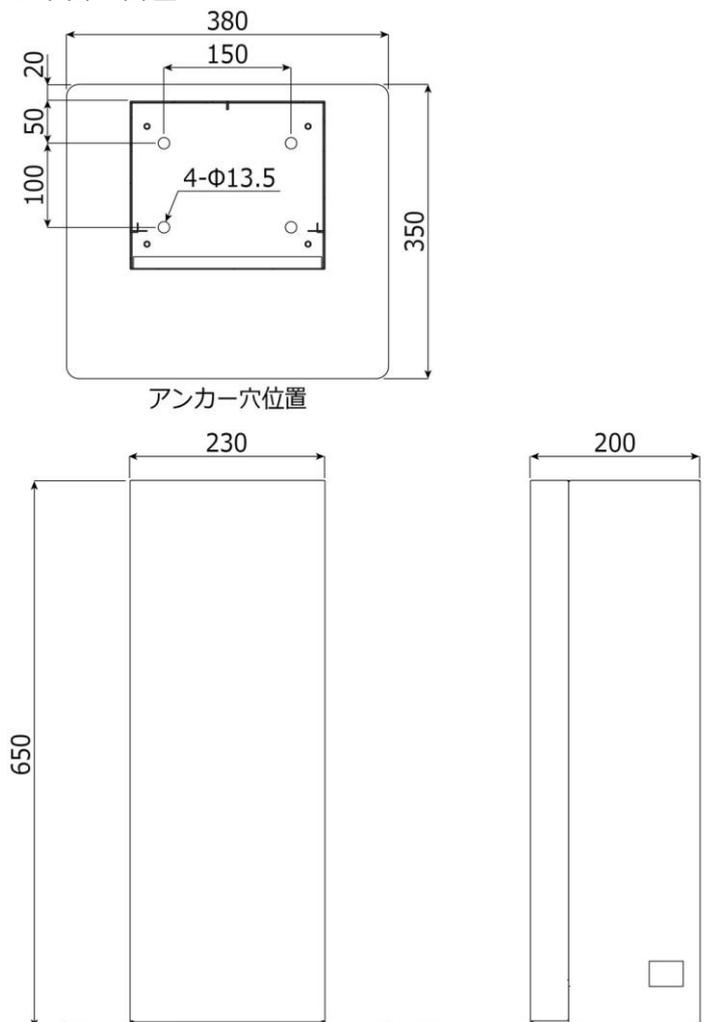
2-3 寸法図

(単位:mm)

● 本体



● 架台、台座



3 設置

3-1 付属品

下記の付属品が同梱されている事を確認してください。

●本体

・扉錠用鍵	×2
・警報ブザー解除鍵	×2
・ロール紙 ^{※1}	×1
・警報ブザー用電池	×1

●架台

・アンカーボルト(M10×60 C-1060)	×4
・本体固定用ネジ(M8×15 P3 アプセット)	×4
・台座固定用ネジ(M6×10 Ⅲ)	×4

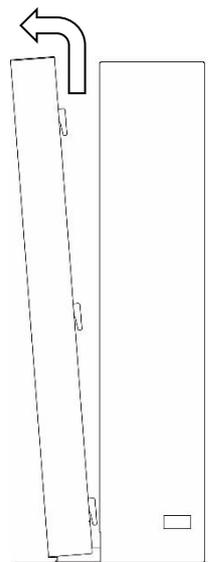
※1 ロール紙はプリンターの内部に入っています。

※LAN ケーブルは付属していません。お客様にて準備をお願いします。

3-2 設置方法

1. 架台扉を取り外します。

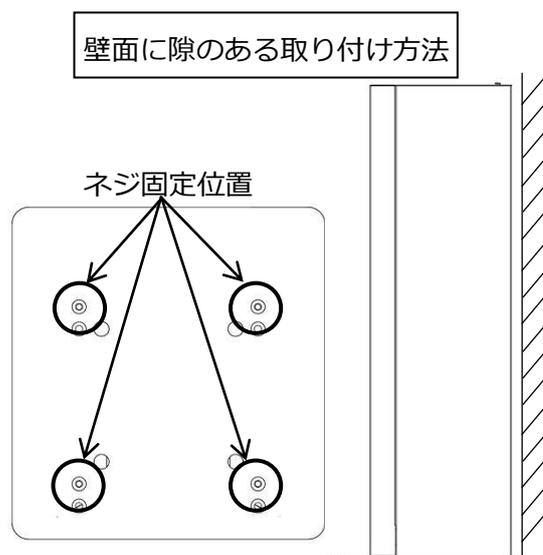
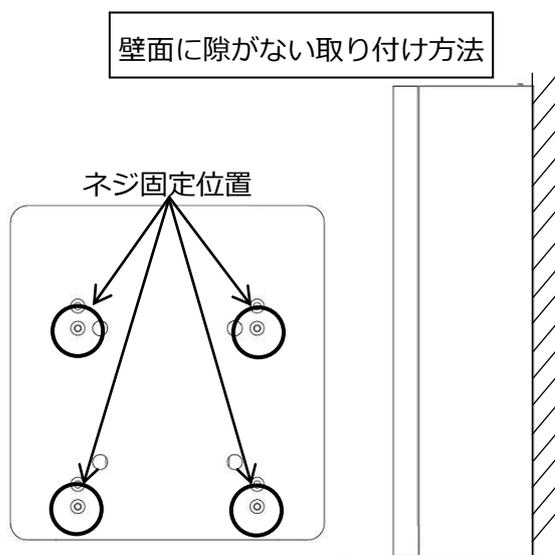
※上に持ち上げてから手前に引き出すと取り外せます。



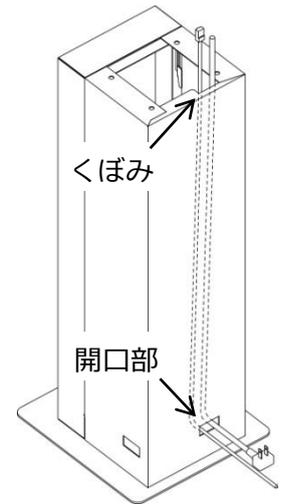
2. 台座固定用ネジで、底面から台座を4ヶ所固定してください。

2種類の取り付け方法があります。

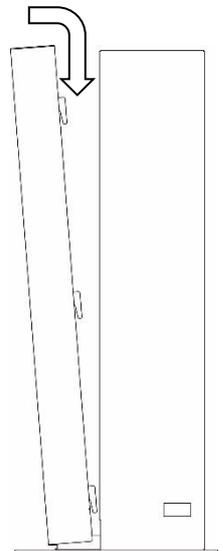
※設置時はアンカーボルトを使用してください。



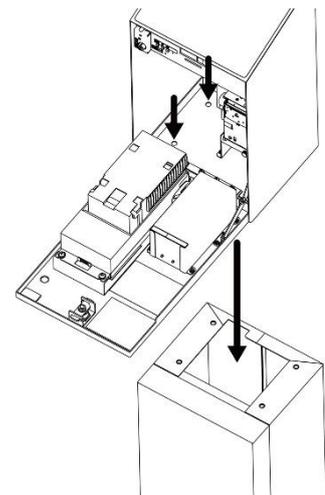
3. 架台下部のロックアウトを抜き、本体の電源プラグとLANケーブルを架台上部のくぼみから内部へ通し、ロックアウトを抜いた開口部へ通します。



4. 架台扉の引っ掛けを下部から合わせて差し込み、固定します。

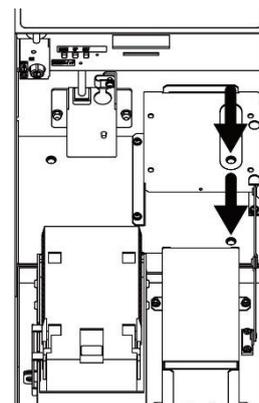


5. 架台に本体を載せ、本体の扉を開き、本体内部から本体固定用ネジで左側2ヶ所を固定してください。

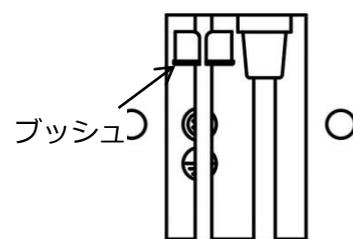


6. プリンター固定ネジを指で外し、プリンター部分を移動させます。本体内部から本体固定用ネジで右側 2 ヶ所を固定してください。本体固定後はプリンターを元の位置に戻し、プリンター固定ネジを指で取り付けます。

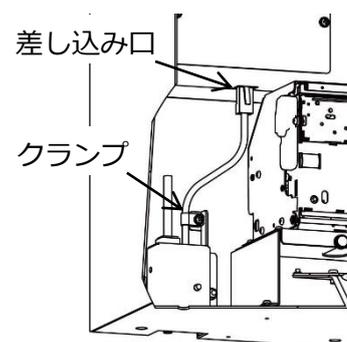
※プリンター部分は、プリンターと本体と繋がっている為、移動させる際には引っ張らないように注意してください。



7. 本体の背面下部についているブッシュを取り外し、LAN ケーブルを通してから、元の位置に取り付けます。



8. LAN ケーブルを差し込み口に接続し、クランプで固定します。



9. 「2-2 内部図」(8 ページ)を参照して、警報ブザー用電池を取り付け、警報装置スイッチを ON にしてください。

10. 「2-1 全体図」(7 ページ)を参照して、アース端子にアース線を接続してください。

※アース線は必ず接続してください。

※電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。

※アース(接地)工事は D 種(第 3 種)設置工事(接地抵抗値 100Ω以下)を行ってください。

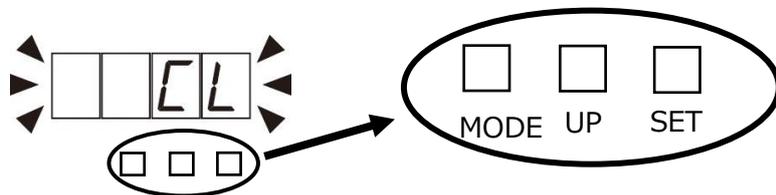
※アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。

4 初期設定

電源を ON にすると出荷状態になっているので、下記の手順で初期設定を行ってください。

4-1 初期設定

出荷状態の表示



初期設定を行い、販売可能状態にしてください。

4-2 メンテナンスモード設定

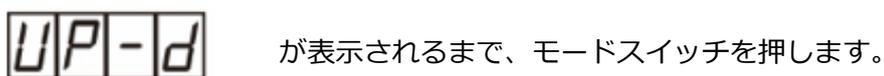
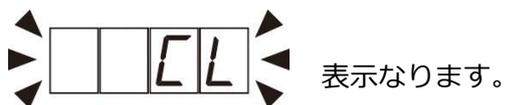
「7-2 メンテナンスモード」(20 ページ)を参照して、下記の項目を確認、または設定してください。

- ・機械No設定
- ・IP アドレス設定
- ・サブネットマスク設定
- ・デフォルトゲートウェイ設定
- ・ローカルポート設定

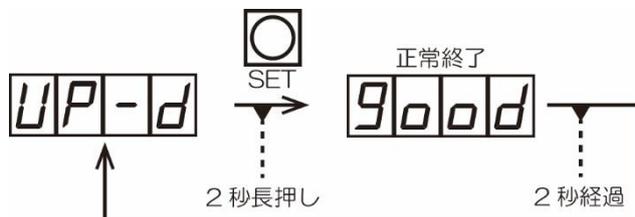
※上記以外の項目は、必要に応じて変更、確認を行ってください。

4-3 期間データの更新

一旦電源を一旦切り 電源を ON すると



セットスイッチを 2 秒押すとデータ更新します。



期間データの更新が完了すると、印字データ待ち表示になります。

4-4 ロール紙の補充

「8-3 ロール紙の補充」(34 ページ)を参照して、プリンターにロール紙を補充してください。
これで初期設定は完了です。

5 販売動作

5-1 通常時

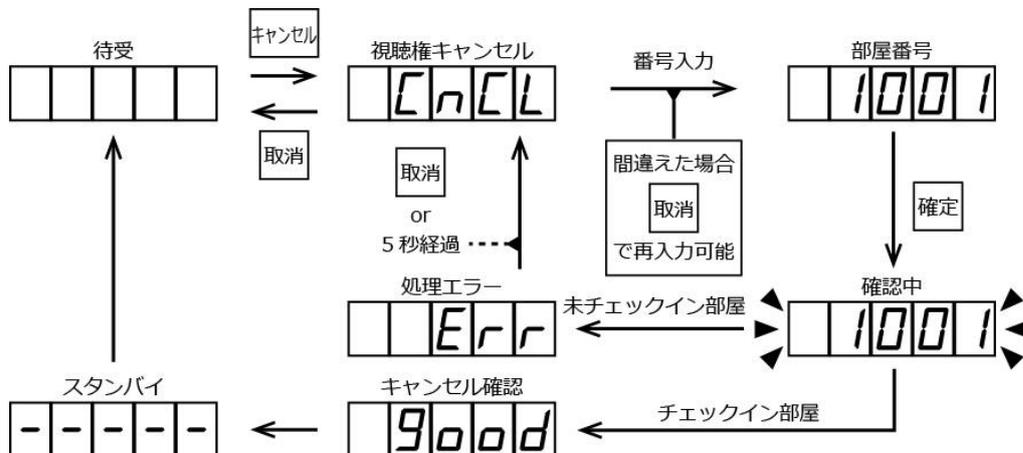
1. 印字データ待ち状態で管理サーバーから印字データを受信すると、販売中ランプが点灯します。
2. 12 キーで部屋番号を入力して確定を押すと、販売金額が表示されます。
※販売金額が表示されない場合は、管理サーバーとの通信、部屋番号の有無を確認してください。
3. 表示されている販売金額分の 1000 円紙幣を入金します。
4. 入金完了すると販売中ランプが消灯し、印字が始まります。
5. 印字完了すると管理サーバーからの印字データの受信を待ちます。

5-2 部屋番号間違い時

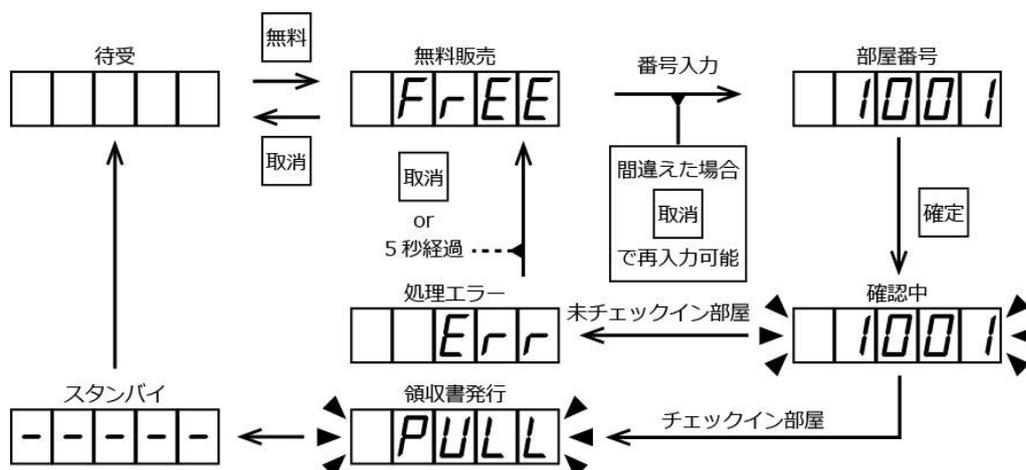
部屋番号を間違えて入力、購入してしまった場合には、視聴権キャンセルで間違って購入された部屋の視聴権をキャンセルし、その後無料販売で視聴権を再発行することができます。

表示	状態名
	視聴権キャンセル
	無料販売

1. キャンセルスイッチを押し、間違えて購入した部屋番号をキャンセルしてください。



2. 無料スイッチを押し、正しい部屋番号で再発行してください。



※キャンセルスイッチ、無料スイッチは待受表示状態の時のみ受け付け可能とします。
 ※各カウンタは更新しません。

6 警報ブザー

警報ブザー設定スイッチが ON の状態で、本機のコンセントが引き抜かれた、または前面扉がこじ開けられた場合に警報ブザーが作動します。

警報ブザーが作動した場合は、警報ブザー設定スイッチを OFF にし、警報ブザーが作動した原因を解消後に再度 ON にしてください。

7 モード

7-1 管理モード

電源を ON にし、待機状態でモードスイッチを押すと管理モードになります。

	表示	モード名
①	— — — —	管理モード
②	0777	トータルカウンタ回数表示(777 回販売時)
③	123	期間カウンタ回数表示(123 回販売時)
④	Prin	売上明細書発行
⑤	tPrin	テスト発行印字
⑥	PCUt	プリンター用紙カット
⑦	UP-d	期間データ更新

※12 キーの 0~9 を押す毎に、表の②~⑦までが順番に切り替わります。

※12 キーの取消を押すと、表の①なら管理モード終了、②~⑦なら①になります。

※10 秒間無操作なら管理モードが終了します。

●管理モード

販売中ランプが消灯し、管理モードに移行したことを表示します。

●トータルカウンタ回数表示

初期設定が完了してから、販売された回数を 4 桁で表示します。

範囲:0 回~9999 回

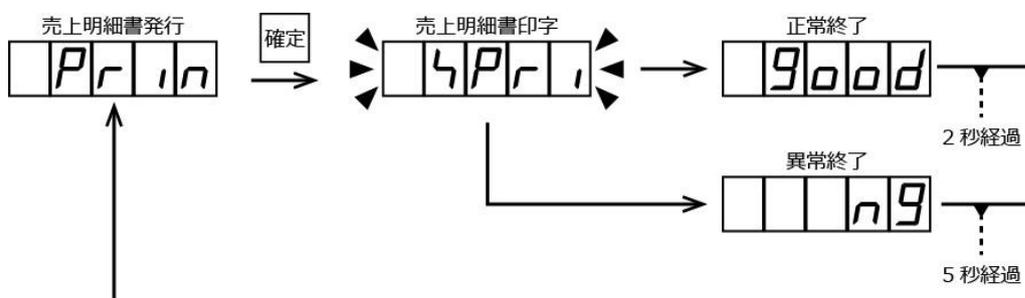
●期間カウンタ回数表示

期間データ更新から、販売された回数を 1~3 桁表示します。

範囲:0 回~999 回

●売上明細書発行

視聴権の売上明細書を印字します。



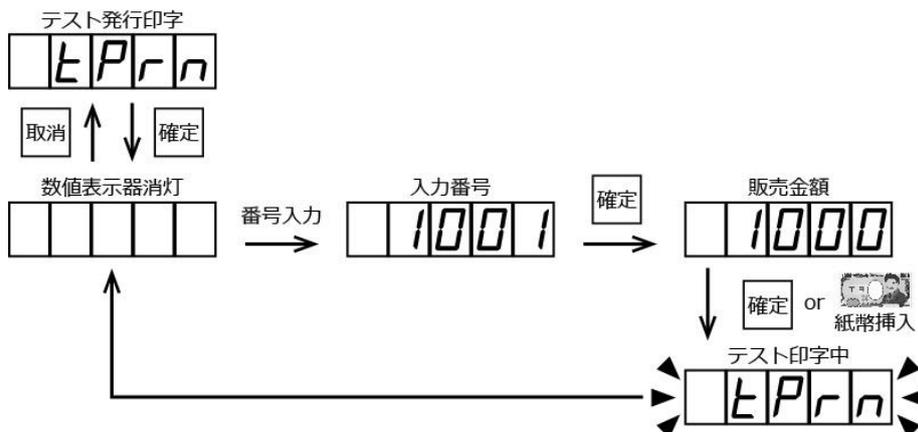
印字内容

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 視聴権 売上明細書 </div>	
販売期間	
20xx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分	から
20xx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分	まで
伝票No.	xxx
機械No.	xxx
販売回数	xxx 回
販売単価	x,000 円
販売金額	xxxxxx 円
¥1000枚数	xxx 枚
お客様確認サイン	
オペレータ確認サイン	

販売期間	期間データを更新した日付から現在の日付
伝票No.	設定されている伝票No.
機械No.	設定されている機械No.
販売回数	期間データを更新してからの販売回数
販売単価	設定されている販売金額
販売金額	販売回数と販売単価で計算した売上金額
¥1000枚数	期間データを更新してから最後に販売完了した時点までの入金枚数

●テスト発行印字

視聴権の販売動作のテストを行い、印字データの内容を確認します。



※各枚数の更新、管理サーバーへの販売完了通知、印字後の印字データ消去は行いません。

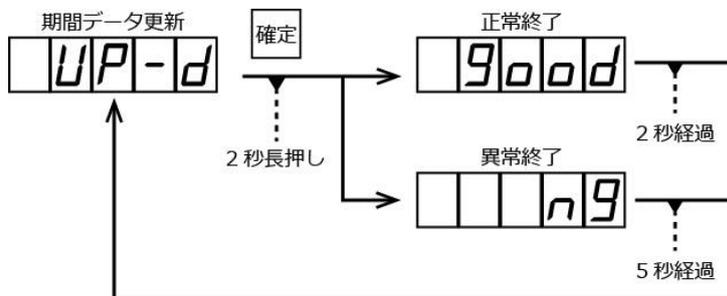
※テスト中に 10 秒間無操作ならテストを終了します。ただし、販売金額表示では紙幣挿入経過時間設定の時間経過でテストを終了します。

●プリンター用紙カット

12 キーの確定を押すと、ロール紙の先端部分をカットします。

●期間データ更新

出荷状態を解除します。出荷状態解除後は各期間枚数を初期化し、伝票No.を 1 加算します。



7-2 メンテナンスモード

モードスイッチを押しながら電源を ON にするとメンテナンスモードになります。

	表示	モード名
①	— — — —	メンテナンスモード
②	b i L L	紙幣識別機テスト
③	P r t 4	プリンター印字テスト
④	C L o C	時計設定
⑤	y E n	販売金額設定
⑥	b L - t	紙幣挿入経過時間設定
⑦	d - n o	伝票No.設定
⑧	U - n o	機械No.設定
⑨	, P	IP アドレス設定
⑩	4 b	サブネットマスク設定
⑪	9 A	デフォルトゲートウェイ設定
⑫	L P	ローカルポート設定
⑬	4 t - t	ステータス要求タイマー設定
⑭	b i L C	紙幣カウンタ確認
⑮	P A G E	印刷ページ枚数設定

※12 キーの 0~9 を押す毎に、表の②から⑮までが順番に切り替わります。

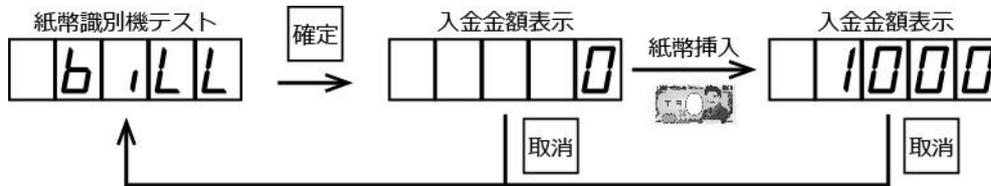
※12 キーの取消を押すと、表の①ならメンテナンスモード終了、②~⑮なら①になります。

●メンテナンスモード

販売中ランプが消灯し、メンテナンスモードに移行したことを表示します。

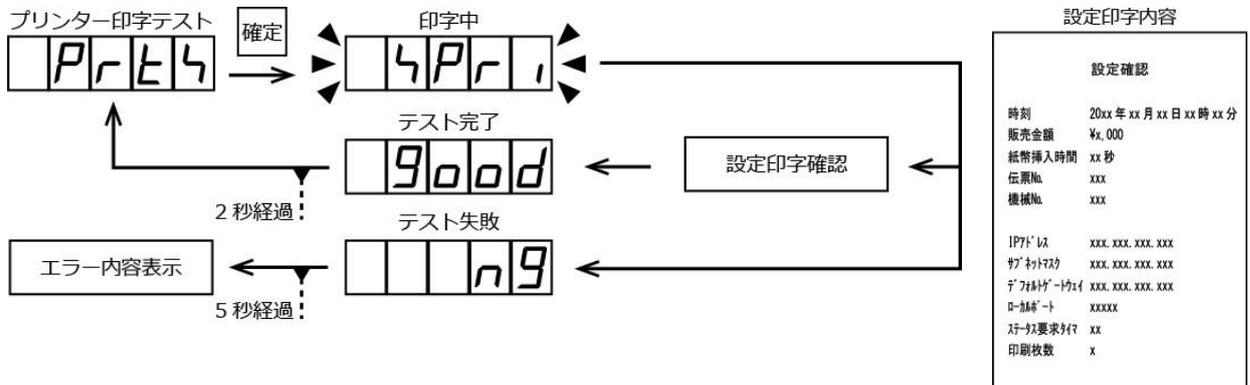
●紙幣識別機テスト

1000円紙幣を入金し、正常に認識される事を確認します。入金毎に表示の値が加算されます。



●プリンター印字テスト

プリンターが正常に印字できる事を確認します。

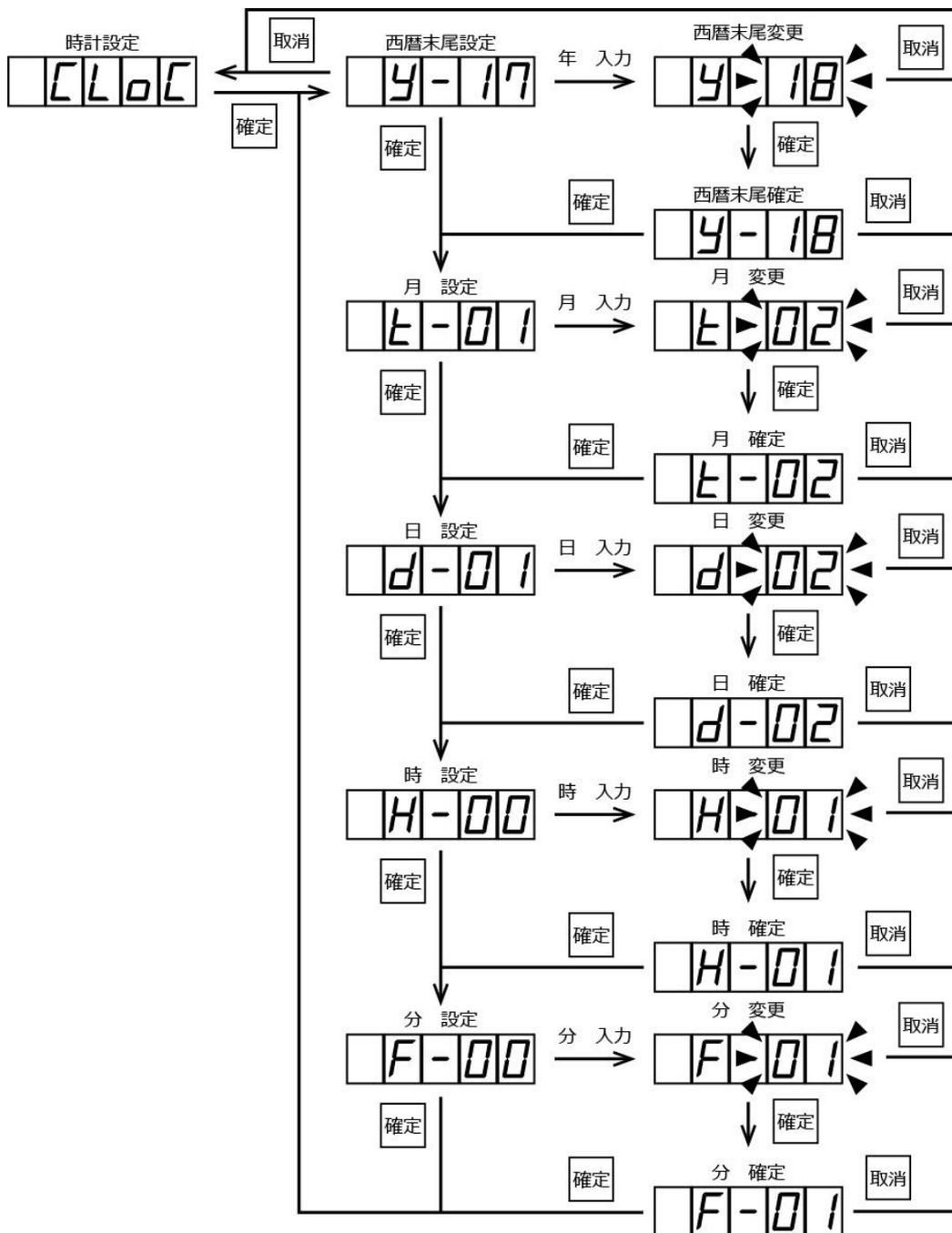


設定印字内容	
設定確認	
時刻	20xx年xx月xx日xx時xx分
販売金額	¥x,000
紙幣挿入時間	xx秒
伝票No.	xxx
機械No.	xxx
IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx
子ネットワークアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
D-アドレス	xxxxx
ページ要求列	xx
印刷枚数	x

●時計設定

本機の時計を設定します。

年(西暦下 2 桁)月日時分を設定し、秒は設定後 0 秒になります。

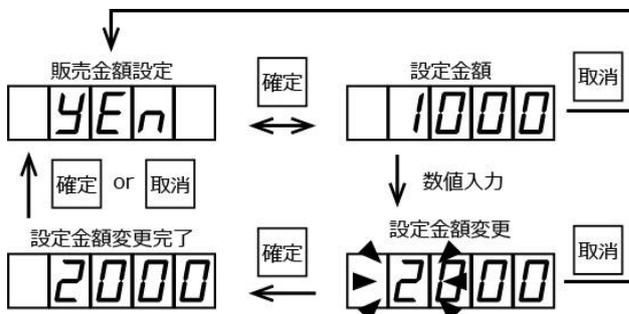


●販売金額設定

販売金額を設定します。

範 囲:1000 円～5000 円

初期値:1000 円

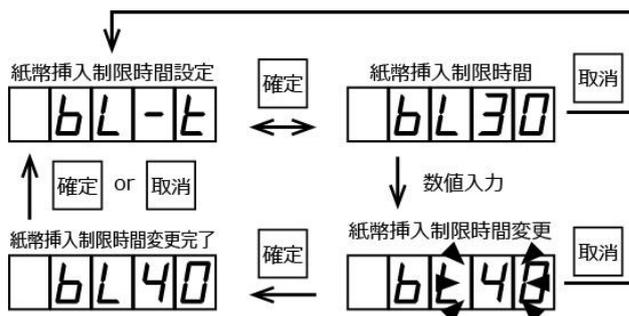


●紙幣挿入経過時間設定

販売金額表示から自動で待機状態に戻るまでの時間を設定します。

範 囲:30 秒～60 秒(10 秒単位)

初期値:30 秒

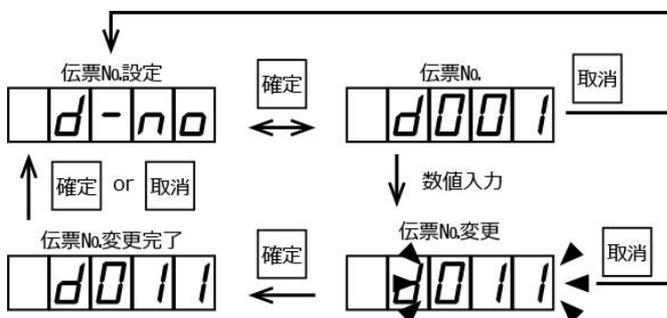


●伝票No.設定

伝票No.を設定します。

範 囲:No.1～No.999

初期値:No.1

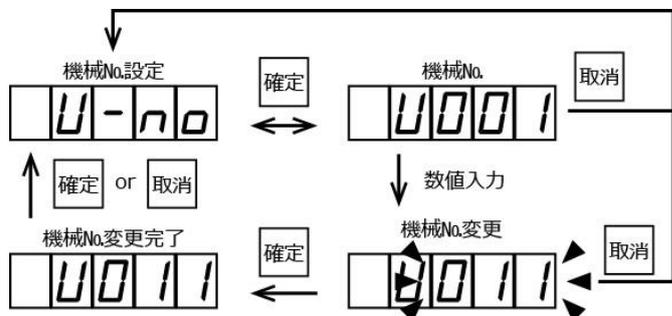


●機械No.設定

機械No.を設定します。

範 囲:No.001~No.999

初期値:No.001

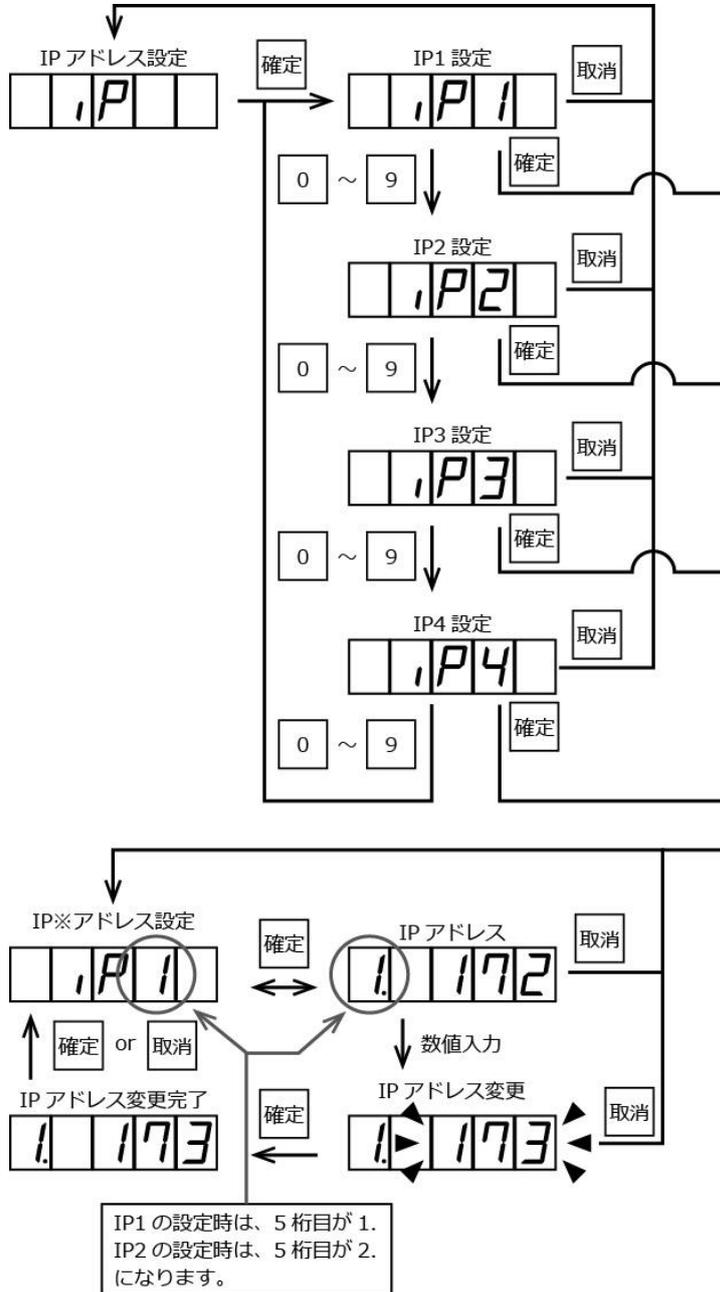


● IP アドレス設定

IP アドレスを設定します。

範 囲:1.0.0.1~223.254.255.254

初期値:172.16.0.1

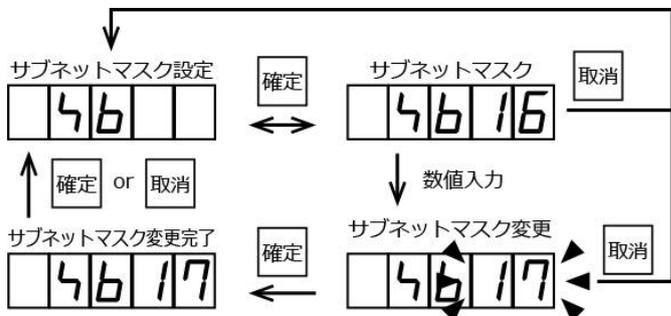


●サブネットマスク設定

サブネットマスクを対応した番号で設定します。

範 囲:2~24

初期値:16



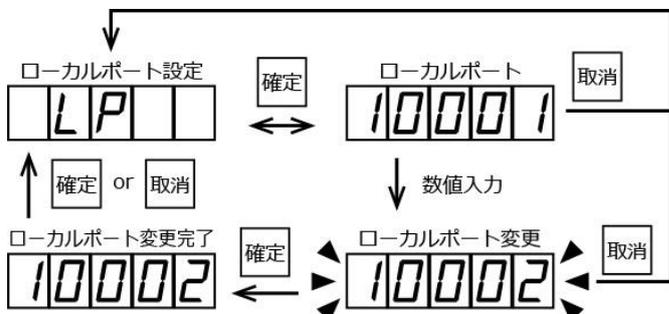
番号	サブネットマスク	番号	サブネットマスク
2	255.255.255.252	14	255.255.192.0
3	255.255.255.248	15	255.255.128.0
4	255.255.255.240	16	255.255.0.0
5	255.255.255.224	17	255.254.0.0
6	255.255.255.192	18	255.252.0.0
7	255.255.255.128	19	255.248.0.0
8	255.255.255.0	20	255.240.0.0
9	255.255.254.0	21	255.224.0.0
10	255.255.252.0	22	255.192.0.0
11	255.255.248.0	23	255.128.0.0
12	255.255.240.0	24	255.0.0.0
13	255.255.224.0		

●ローカルポート設定

ローカルポート番号を設定します。

範囲:10000~65535

初期値:10001

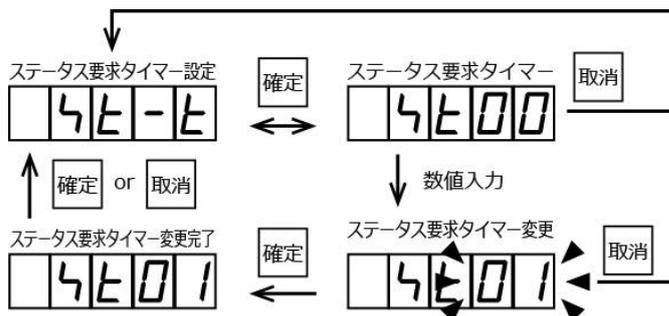


●ステータス要求タイマー設定

販売可状態で、管理サーバーからステータス要求を受信してから、販売不可状態にするまでの時間を設定します。使用しない場合は、0で無効に設定してください。

範囲:0分~99分

初期値:無効(0分)



●紙幣カウンタ確認

紙幣が入金されたトータルカウンタを4桁、期間カウンタを3桁で確認します。

トータルカウンタ 範囲:0枚~9999枚

期間枚数 範囲:0枚~999枚

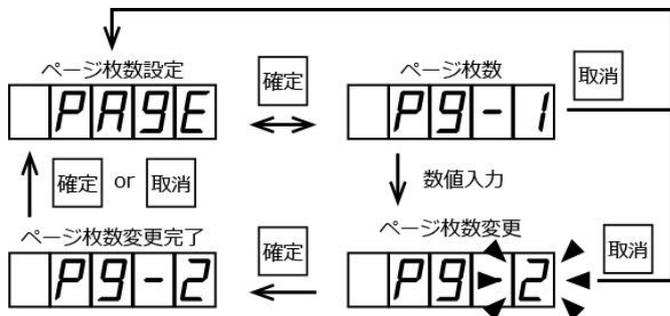


●明細書印字枚数設定

売上明細書を印字する枚数を設定します。

範 囲:1 枚～2 枚

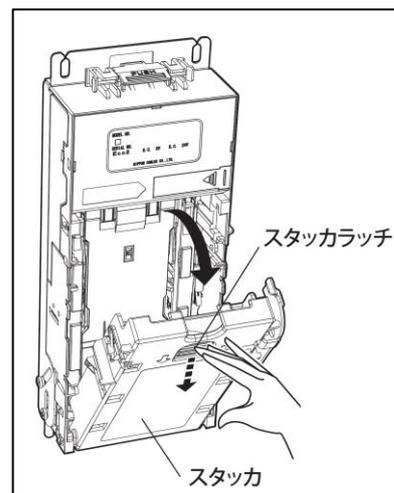
初期値:1 枚



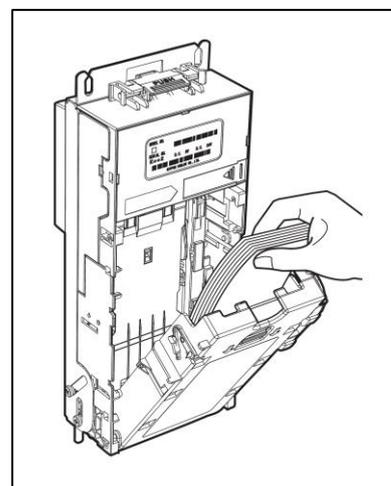
8 日常のお手入れ

8-1 紙幣回収

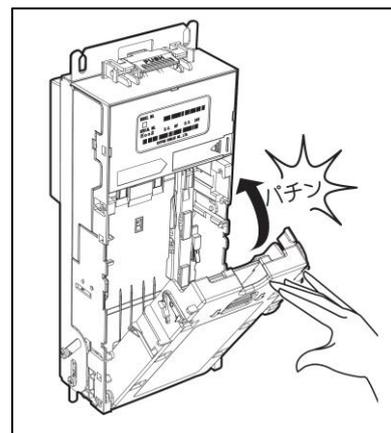
1. スタッカラッチを押し下げスタックを手前に開きます。



2. 紙幣を取り出します。紙幣は必ず全て回収してください。



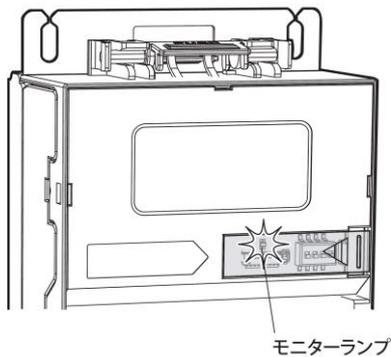
3. スタックを戻すときは、スタッカラッチが“パチン”と音がするところまで押し込んでください。



8-2 紙幣識別機の清掃

紙幣識別機の識別部(通路部も含む)は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなるとモニターランプが点滅しますのでセンサーを清掃してください。また、1~3ヶ月ぐらいに1度、必要に応じて清掃してください。

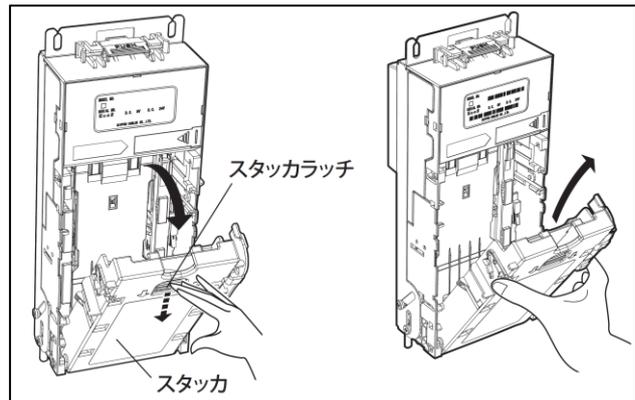
※モニターランプは、識別センサーの汚れにより清掃が必要なとき、0.5秒間隔で点滅します。



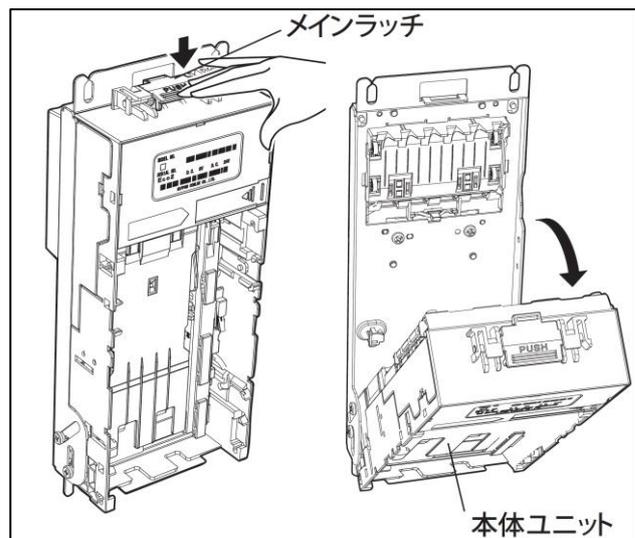
モニターランプの表示内容

状態 \ 色	赤	緑
消灯	正常	正常
点灯	異常	点検
点滅	センサー汚れ	-

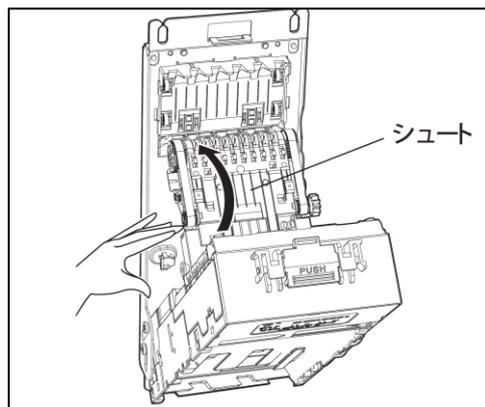
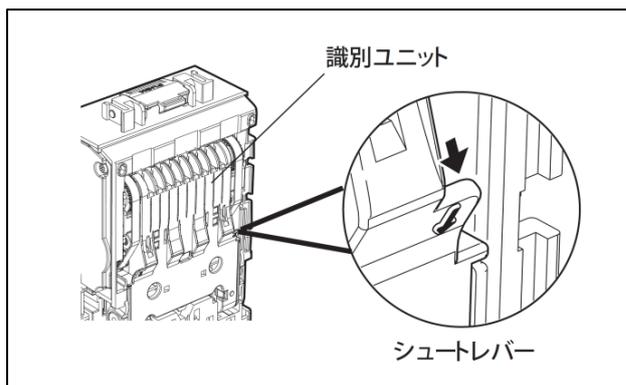
1. スタッカラッチを押し下げ、スタッカを開き、外します。



2. メインラッチを押し下げ、本体ユニットを開きます。

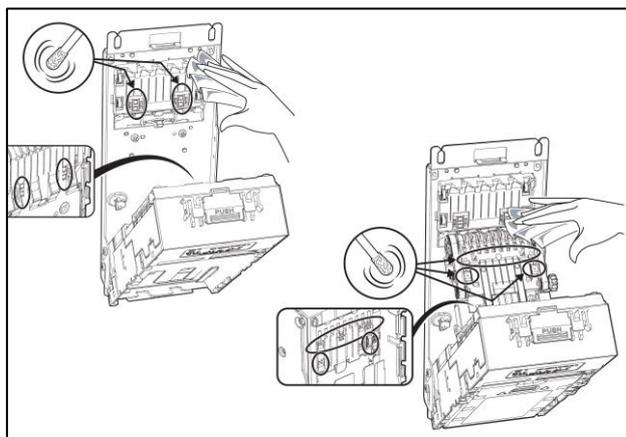


3. 識別ユニットの矢印部分のレバーで、シュートを開いてください。

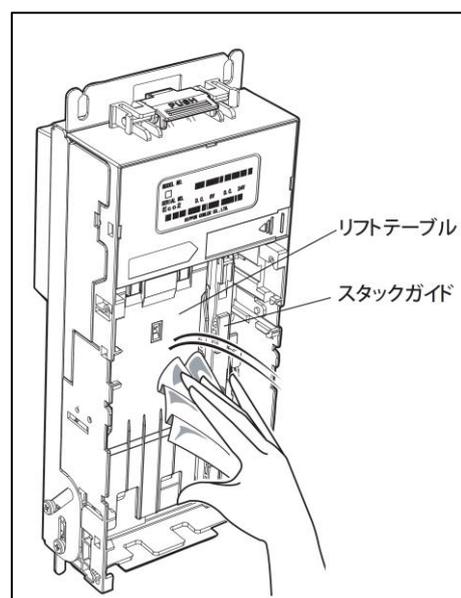
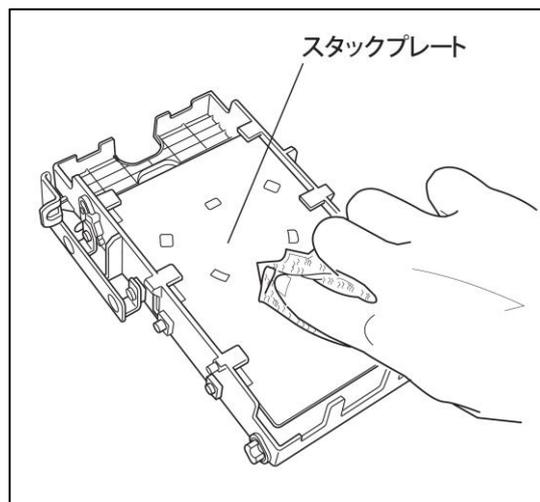


4. 紙幣通路部の汚れは柔らかい布で拭き取ってください。またシュート、ローラ、ベルトなどの汚れを拭き取ってください。

※センサー類を清掃するとき、キズを付けないように十分注意してください。



5. リフトテーブル、スタックガイド、スタックプレートなどの汚れを柔らかい布や綿棒で拭き取ってください。



※紙幣挿入口は綿棒などで清掃してください。

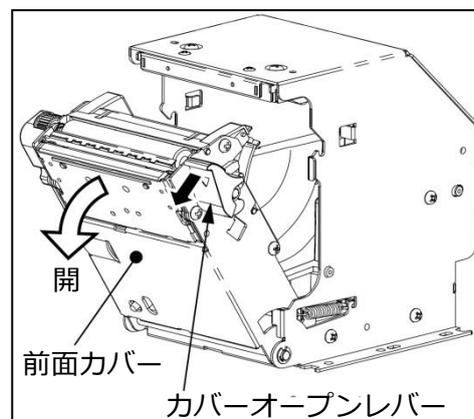
※汚れが取れにくいときは、固くしぼった柔らかい布などで拭き取ってください。

※搬送ベルトには、ベンジン・シンナーなどは絶対使用しないでください。

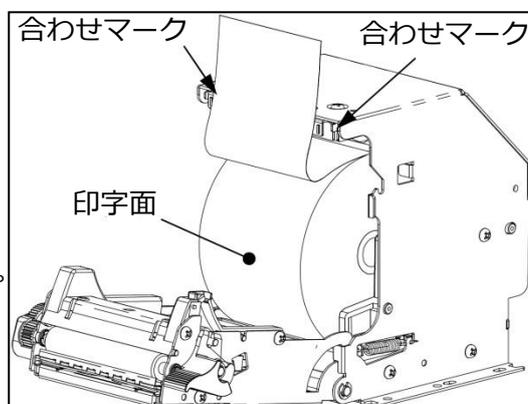
8-3 ロール紙の補充

電源を OFF にし、以下に説明する手順でロール紙をセットしてください。

1. プリンターのカバーオープンレバーを矢印の方向に操作しながら、前面カバーを開いてください。



2. 用紙をプリンター内部へ落とし込んでください。用紙の端を適当に引き出し、カバー上部の「合わせマーク」に用紙端を合わせながら前面カバーを閉じてください。

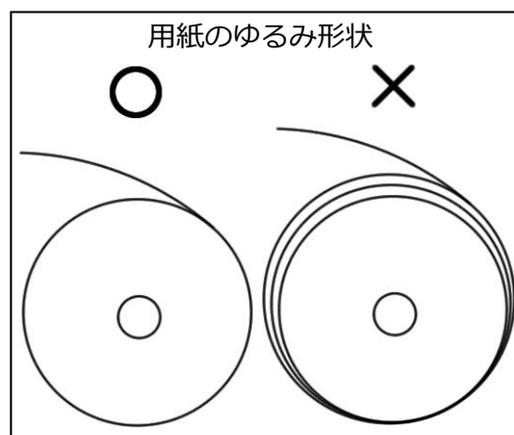


※用紙が真っ直ぐになっていることを確認してください。

3. 電源を ON にし、「7-1 管理モード」の「プリンター用紙カット」(19 ページ)を参照して、用紙先端部分をカットしてください。

【注意】

- ・新しい用紙を入れる前に古い用紙の巻き芯を取り除いてください。
- ・用紙は巻きゆるみのないようセットしてください。
- ・用紙の印字面は外側で、印字面が上向きになるようにセットしてください。
- ・用紙を斜めにセットした場合は前面カバーを開き、真っ直ぐに修正してください。
- ・前面カバーを開く時、停止位置を越えて無理な力かけないでください。
- ・指や手を挟まないように注意してください。
- ・印字直後のサーマルヘッドは高温になるため、指や手などで触れないようにしてください。



8-4 プリンターの清掃

●ゴミ・ホコリなどの除去

サーマルヘッドの発熱体部分に紙カスなどが付着して印字品質が悪くなることがあります。

また、プラテン、センサーに紙粉が付着することがあります。

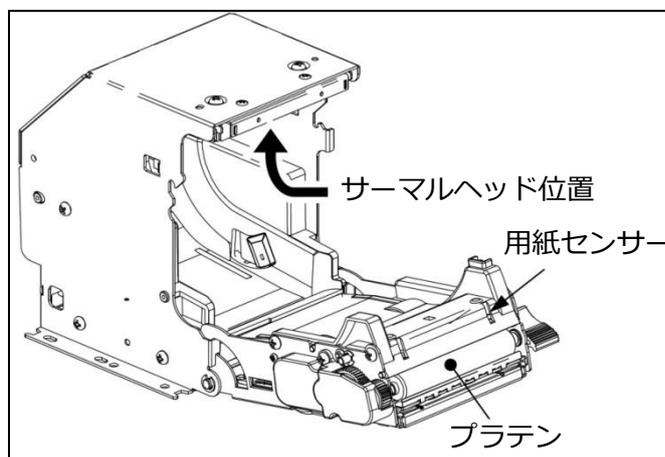
このような場合は電源を OFF にし、以下の清掃をおこなってください。

1. サーマルヘッド

アルコール系溶剤(エタノール・IPA)を含ませた綿棒で発熱体表面の汚れを拭き取ってください。

2. プラテン

乾いた布でプラテンを軽くこするようにして拭き、表面のゴミ・ホコリなどを除去してください。



3. マークセンサー／用紙センサーおよびその周辺

毛先の柔らかいブラシや綿棒でセンサーに付着したゴミ・ホコリなどを除去してください。

4. オートカッター

エアブローで付着したゴミ・ホコリなどを除去してください。(目安:10万回動作毎)

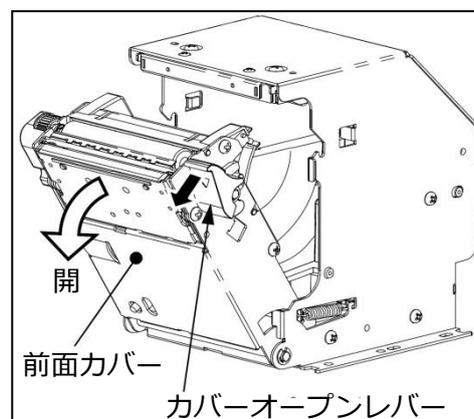
【注意】

- ・ 印字直後のサーマルヘッドは高温になるため、指や手などで触れないようにしてください。
- ・ サーマルヘッドの発熱体表面に素手や金属などで触れないでください。
- ・ サーマルヘッドの清掃の際、静電気によるヘッド破損の危険性があるので十分注意してください。
- ・ 用紙によっては、異常に紙粉が出ることがあるのでメンテナンス時期は、用紙の確認をした上で決めてください。
- ・ 完全に乾いた後で電源を ON にしてください。
- ・ 前面カバーを開く時、停止位置を越えて無理な力をかけないでください。

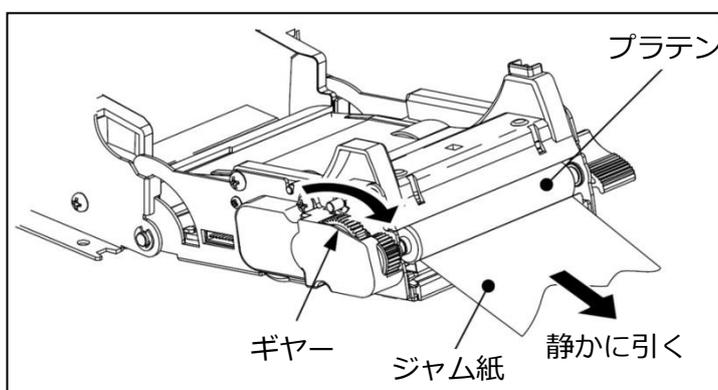
●残紙、ジャム紙の除去

残紙、ジャム紙がある場合は、以下に説明する手順で除去してください。

1. カバーオープンレバーを操作し、前面カバーを開いてください。



2. 用紙経路上の用紙を取り除いてください。
用紙がプラテンに巻きついている場合はギヤー部を手で回しながら取り除いてください。



3. 前面カバーを音がするまで確実に閉じてロックしてください。

【注意】

- ・ 印字直後のサーマルヘッドは高温になるため、指や手などで触れないようにしてください。
- ・ 前面カバーを開く時、停止位置を越えて無理な力をかけないでください。
- ・ 指や手を挟み込まないように注意してください。
- ・ 引きちぎれないようにゆっくり取り除いてください。細片を残さないようにしてください。

8-5 警報ブザー用電池交換

警報ブザー用電池は、1年毎、または電池残量チェックスイッチを押して赤色 LED の発光が暗く感じたら電池を交換してください。

(注)警報ブザー用電池は、1年ごとに交換してください。

電池の品名：マンガン乾電池(積層形)

電池の型式：006P形

電池の電圧：9V形

電池の交換の際は安全のため電源スイッチを OFF にして、コンセントを抜いてから交換してください。

9 エラー

エラーコード	エラー名	エラー要因
<input type="text" value="E-10"/>	紙幣満タン	紙幣が満タンになっています。 紙幣を回収してください。
<input type="text" value="E-11"/>	紙幣識別機エラー	紙幣識別機が通常動作を行えない状態です。 紙幣の詰まりを取り除き、可動部を正常な位置にしてください。
<input type="text" value="E-21"/>	ロール紙切れ	プリンターのロール紙が少なくなりました。 ロール紙を交換してください。
<input type="text" value="E-22"/>	プリンターカッター不良	プリンターのカッターが正常に動作しませんでした。 販売店までご連絡ください。
<input type="text" value="E-23"/>	プリンターコネクタ抜け	プリンターのコネクタが抜けています。 販売店までご連絡ください。
<input type="text" value="E-24"/>	ロール紙ストッカー開き	プリンターのロール紙ストッカーが開いています。 ロール紙ストッカーを閉めてください。
<input type="text" value="E-25"/>	プリンターヘッド温度異常	プリンターのヘッド温度が異常になりました。 販売店までご連絡ください。
<input type="text" value="E-30"/>	前面扉開き	警報ブザー設定後に前面扉が開きました。 前面扉を閉めてから警報ブザーの設定を行ってください。
<input type="text" value="En-1"/>	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けています。 販売店までご連絡ください。
<input type="text" value="E-60"/>	通信異常	管理サーバーとの通信が確立されませんでした。 管理サーバーとの接続を確認してください。
<input type="text" value="Err"/>	操作間違い	操作間違いです。5秒後に待受表示に戻ります。
<input type="text" value="44n9"/>	システム異常	設定値の読み書き、または時間の読み込みができませんでした。 時計設定を行い、復旧しなければ販売店までご連絡ください。

※上記対処を行っても復旧しない場合は、販売店までご連絡ください。

10 製品仕様

項目	内容
販売数	1 券種
対応金種	1000 円紙幣
販売金額	1000 円～5000 円(1000 円単位)
紙幣収納枚数	1000 円紙幣:430 枚±50 枚(官封紙幣) ※流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。
ロール紙	感熱ロール紙※1 幅 58mm 最大径 83φ
印字枚数	約 600 枚(10cm 印字)※2
印字ヘッド寿命	約 100km※3
カッター寿命	約 100 万回※3
表示	5 桁数値表示器:7 セグメント LED 販売中ランプ:緑 LED
入力	12 キー(数字キー10、制御キー2)
回数管理	販売回数、入金枚数 ※トータル:リセットなし 4 桁 期間:リセットあり 3 桁
警報ブザー	コンセント引き抜き時、および前面扉こじ開け時
時計精度	月差 60 秒以内(常温時)
停電保証	大容量コンデンサーによる値記憶 停電後 1 週間(フル充電状態にて)
使用環境	屋内専用 温度 5～45℃ 湿度 30～90%(結露なき事)
設置方法	自立式(アンカーボルト固定)
外形寸法	本体 230mm(W)×450mm(H)×200mm(D)※4 架台 230mm(W)×650mm(H)×200mm(D) 台座 380mm(W)×350mm(D)
重量	本体 約 13kg 架台 約 7kg 台座 約 3.5kg

項目	内容
電源	AC100V 50/60Hz
電源変動許容範囲	AC100V±10V
消費電力	待機時 8W 動作時 27W(通常印字動作時) ^{※5}
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上
耐電圧	AC1000V/1 分間(充電部-非充電部)
静電気耐力	8KV 以上(IEC 61000-4-2 準拠)
耐ノイズ	モード ノーマルモード、コモンモード パルス幅 1 μSec パルス高 ±1200V 位相 0~360° 3 分間重畳し誤動作なき事

※1 感熱ロール紙は、弊社推奨品をご利用ください。弊社にて受注を承ります。

※2 印字枚数は、領収書の印字長、紙長などによって変わります。長さについて事前にご相談ください。



※3 寿命数値は、参考値で製品の保証を意味するものではありません。保証につきましては、保証規定をご参照ください。

※4 突起部分は含みません。

※5 本体定格銘板の表記は、法律上、定格消費電力 18W、電熱装置定格消費電力 105W となっています。

11 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承認のうえご注文をお願い致します。

1)保証内容

－保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

－保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社商品に故障を生じた場合は、代替品の提供、または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- a)取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱い、ならびに、ご使用による場合
- b)当社製品以外の原因の場合
- c)当社以外による改造または修理による場合
- d)当社製品本来の使い方以外の使用による場合
- e)その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2)責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3)サービスの範囲

当社商品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

4)適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外での取引、および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上